

新技術波及展開事業 普及技術カタログ 応募用紙（記入例）

申込日 2026/5/11 **必須** 年月日（西暦）
必須 新規応募または更新延長を選択

応募区分 新規応募

1. 応募団体

①団体名	株式会社●●	必須
②住所	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇1-2-3 〇〇ビル〇階	必須 郵便番号と住所を記入
③代表者名	上野 太郎	必須
④事業内容	農薬の製造・販売	必須 主な事業を記入

2. 担当者連絡先（個人情報 はカタログに記載しませんが、問い合わせのあった都道府県職員には情報提供します）

①担当者名	上野 次郎	必須
②部署名	開発部	必須
③住所	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇1-2-3 〇〇ビル〇階	必須 郵便番号と住所を記入
④電話	03-1234-5678	必須
⑤E-mail	akasaka@jadea.jp	必須

3. 応募技術

①応募技術名	ニンニクにおける農業用ドローンによる省力病害虫防除体系	必須 40文字以内 何を使ったどんな効果のある技術なのか分かるように記入（更新延長の時、変更不可）
②技術の概要	従来ニンニクでは農業用ドローンで散布できる高濃度少量散布可能な薬剤（殺虫剤・殺菌剤）が●剤しかなく、ドローンのみでの防除体系構築は困難であった。近年、当社で販売していた殺虫剤●●（有効成分名：■）がニンニクでの空中散布で適用拡大登録され、また他社薬剤も適用拡大登録された。これによって、ドローンのみでの薬剤防除体系の構築が可能となり、従来行っていたブームスプレーヤーでの防除が不要となる。大幅な機械コストの削減と散布時間の短縮が可能となる。●●剤および他社剤を組み合わせた農業用ドローンによる省力防除体系を提案する。	必須 300文字以内 技術の内容や使用する製品、メリット等について具体的に記入（更新延長時、更不可） ※全て「である調」で記入ください ※薬剤については「有効成分名」を記載してください
③対象作物分類（複数選択可）	☐ 水稻 ☐ 麦類 ☐ 豆類 ☐ その他穀類 ☒ 野菜 ☐ 花き ☐ 果樹 ☐ 畜産 ☐ 飼料作物 ☐ 特用作物 ☐ その他（ ）	必須 該当を■にする 「その他」は括弧内に内容を記入（延長更新時、変更不可）
④対象品目名（複数記載可）	ニンニク	③対象作物分類の中で限定される場合のみ作物名等を記載
⑤利用製品分類（複数選択可）	☐ 種苗 ☐ 肥料 ☒ 農薬 ☐ バイオスティミュラント ☒ 機械・農具 ☐ 施設関連機材 ☐ 測定機器 ☐ ICT関連 ☐ 分析診断 ☐ その他（ ）	必須 該当を■にする 「その他」は括弧内に内容を記入（延長更新時、変更不可）
⑥主な導入効果（複数選択可）（最大5つ）	☐ 収量向上 ☐ 品質向上 ☒ 低コスト ☒ 省力 ☐ 軽労・快適 ☐ 安全向上 ☐ 環境負荷低減 ☐ その他（ ）	必須 該当を■にする 「その他」は括弧内に内容を記入（延長更新時、変更不可）
⑦導入効果の説明	ドローンのみでの防除体系が構築されるため、慣行のブームスプレーヤー（約300万円）より安価なドローン（100～200万円）を購入するだけで済むため、機械コストを低減できる。 慣行のブームスプレーヤーが10a当たり作業時間が約0.5時間であるのに対し、ドローンの作業時間は約0.3時間であり、より省力的に散布作業ができるようになる。 また、降雨後でもほ場に入れることで適期防除による防除効果の向上も期待できる。	必須 300文字以内 特に「⑥主な導入効果」でチェックした事項について、どのような理由で効果が発現するか具体的に記入。効果の根拠となる試験データの数値等も記載。 ※全て「である調」で記入ください

⑧留意事項	ドローンの防除作業を行うには「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」を確認する必要がある。 高温時に散布することで薬害が発生する場合がある。	導入に当たっての注意点や条件があれば記入 ※全て「である調」で記入ください
⑨導入コスト	農業用ドローン導入費：税込●円～●円/1機（本体＋予備バッテリー＋保険料） 農薬購入費（A剤2回、B剤2回、C剤1回）：税込●円/10a 注1）10a当たり●リットルを散布した場合 注2）地域、購入先、規格等により価格は異なる	必須 一般的な農家が購入する場合の、初期導入コストの税込金額を記載
⑩維持コスト	農業用ドローン維持費：●円/年（保守料＋保険料）	導入後に維持費が発生する場合はランニングコスト（税込）を必ず記載（光熱費は除く）
⑪試験データ有無 （複数選択可）	☒ 公的試験研究機関データあり ☐ 大学等の試験データあり ☐ 民間研究機関等データあり ☐ 自社試験のデータあり ☐ 試験データ無し	必須 ⑦導入効果を示すデータ、品質や安全性等を裏付ける試験データがあれば、該当を■にする。（「5. 添付資料」としてデータの概略の分かる資料を添付すること）
⑫関連情報のURL	https://www.jadea.org/activities/techcatalog/	必須 自社Webサイト等で提供している一般公開情報があればURLを記入（なければ自社HPのURLを記載）
	（その他のURL 複数可）	追加で紹介したい参考情報があればURLを記入（自社以外も可）
⑬開始年度	2020年	必須 当該技術（製品）が開発（登録・販売開始）された年を記載（複数製品の場合はそれぞれ記載）

4. 普及機関との連携・協力活動の内容

①活動分類・内容	■出張による本技術の説明・指導・講演 研修会や講習会で本技術の内容について説明する。 オンラインでも対応可能。	必須 普及機関からの要請に対し、協力が可能な活動を■にし、条件や内容を記入（無償提供に限る） ※全て「である調」で記入ください
	■出張による本技術の実演・展示・デモンストレーション 農業用ドローンを使った薬剤の散布作業の実演を行う。 ドローンおよびオペレータの派遣も可能。 また、各種イベントでのドローン展示・説明も可能。 20人規模以上を希望。	
	■サンプル品の提供・モニター調査 農業用ドローン所有農家に対し、薬剤サンプルを提供可能。ただし、普及センターを通じて農家へのアンケート調査を依頼する。 戸数、面積については要相談。	
	■その他 薬剤の無償サンプル提供による展示ほの設置を希望（ドローンの準備、結果アンケートの協力が前提）。	
②活動可能エリア	東北地方 オンラインでの説明は全国対応可能	必須 出張対応等の可能な都道府県名や地域を記載（4都道府県以上）
③活動可能期間	通年	必須 出張対応等の可能な時期を記載

5. 添付資料名（試験データ概要、チラシ、技術資料などの参考資料を送付ください）

- ・ 技術パンフレット
- ・ 散布試験成績書（〇〇県農業試験場）

必須 ⑪試験データに関する資料、チラシ、パンフレット、技術の詳細資料など、メールに添付する資料名を記載。**原則**として情報公開可能なものとするが、審査員限りとすることも可（非公開の旨、明記）。

〔留意事項〕

1. 様式の記入スペースが足りない場合には、適宜、記入枠を広げてください。
2. 複数の技術を応募する場合は、1 技術ごとに応募用紙を作成してください。
3. 応募の際は本Excelファイルと添付資料のファイルをあわせてメールで提出ください。
4. 記載内容および添付資料は、普及技術カタログとしてEK-SYSTEM会員に公開されます。

〔個人情報の取扱いについて〕

1. 利用目的

当協会は、収集した個人情報について、以下の目的のために利用いたします。

- ①普及技術カタログ事業に関する資料、請求書、事務連絡文書等の送付
- ②普及技術カタログ事業に関するサービス実施、およびアフターサービスのため
- ③普及技術カタログ事業に関連する商品・サービス・イベントの案内のため
- ④普及技術カタログ掲載の審査のため

2. 第三者提供

当協会は、以下の場合を除いて、個人情報を第三者へ提供することはありません。

- ①法令に基づく場合
- ②個人を識別し得ない「統計データ」として開示する場合
- ③当該技術について都道府県職員からの問い合わせがあった場合